

# 新型コロナウイルス感染症に対する 本学園の対応

愛知淑徳学園では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教職員が一人となり、さまざまな対応を進めてきました。ここではその概要をお伝えします。

学生が安全に学べるよう、  
危機管理室を立ち上げて  
万全の対応を追求。

世界中が新たなウイルスの脅威に直面した2020年春、愛知淑徳大学は新型コロナウイルス感染症対策として島田修三学長を責任者とした「危機管理室」を設置しました。感染拡大の状況を注視しながら、卒業式・入学式をはじめとする行事や式典の中止、遠隔授業の導入、学生に対するさまざまな支援、新しい生活様式に対応したキャンパスの環境整備などを進めています。学生の皆さんには、社会の一員としての責任感と自覚をもってこの困難な状況に忍耐強く立ち向かってほしいと願っています。

## 授業

遠隔授業を導入し、  
学生の学修機会を確保。

感染症拡大防止と学生の健康と安全を守るため、2020年度の授業に遠隔（オンライン）授業を導入しています。授業内容や社会の状況に応じて、通常の「対面授業」、オンラインによる「リアルタイム双方向授業」「オンデマンド授業」を実施。遠隔授業に必要な環境整備が難しい学生には、PCやWi-Fiルーターを無料で貸し出しています。なお、学内でのリアルタイム双方向授業を受講するにあたり、学内利用限定のPCの貸し出しも行っています。また、対面での指導が不可欠な実験・実習は、マスクやフェイスシールドの着用や日々の体温管理、こまめな消毒、教室の換気などを徹底し、細心の注意を払って授業を進めています。



## サポート

各教育センター・部署が、  
学生一人ひとりを支援。

就職活動、留学・国際交流、ボランティア活動などにも制限が及ぶ状況において、各教育センター・部署が柔軟に対応。個別相談や各種セミナー、交流イベントなどをオンラインで実施し、学生のさまざまな思いに応える体制を整えています。図書館では通常の開館に加え郵送による図書の貸出や文献の提供を行い、自宅での学修・研究を支えています。また、遠隔授業を受けるためのインターネット環境が整っていない学生には、情報教育センターのPC教室を開放し、その際の交通費補助も限定的に行いました。さらに、学生相談室では対面相談と並行してオンラインや電話・メールによる遠隔相談を行い、ライティングサポートデスクではオンラインによる個別相談を実施。学生一人ひとりをきめ細かくサポートできるよう、よりよい支援方法を模索しています。



## 学生による自主活動

4月の恒例行事「新入生歓迎フェスティバル」を、学生有志によりオンラインで実施。新入生の不安を払拭し、学生生活への希望をふくらませる機会となりました（詳しくは14ページ）。



消毒や社会的距離を徹底し、安全安心なキャンパスへ。

感染拡大防止のために、キャンパスの各所にアルコール消毒液を設置し、施設の清掃・消毒も徹底して行っています。共有スペースであるコミュニケーションホールや交流ラウンジなどは食事エリアとPCエリアを区分けするとともに、飛沫感染防止パネルをテーブルに設置しました。



column

一人ひとりが手帳やアプリを活用し、健康管理・感染予防に努める。

学生の健康管理をサポートするため、毎朝の検温結果や体調を記入・管理できる「健康管理手帳」の配付、スマートフォンアプリ「健康日記」の提供を行いました。学生はこれらツールを活用して日々の健康に留意し、対面授業時には出校日およびその前3日分の検温結果を担当教員に提示します。提示できない学生は、授業が受講できず欠席扱いとなります。また、発熱や咳、味覚消失などの症状が一つでもある場合は、出校せず大学保健管理室に連絡することを徹底しています。



本学園独自の奨励金・奨学金

新型コロナウイルスの感染拡大による家計急変等に対応し、独自の緊急修学支援を行いました。

特別奨励金の給付 中高・大学・大学院共通

新型コロナウイルス感染症拡大による遠隔授業の導入などのための学習環境の準備、現下直面しているさまざまな困難に対し、意欲を持って学修に取り組めるように、愛知淑徳学園のすべての生徒・学生※を対象に5万円の特別奨励金を給付しました。

※2020年5月1日現在で在学・在学している生徒・学部生・大学院生(休学者・停学者・留学生別科生・科目等履修生・聴講生・大学院研究生などを除く)

大学

奨励金の種類		対象者	募集人数	給付額	経済条件	備考
特別給付奨励金1	臨時緊急支援	学部生 ※2020年2月以降に家計急変した者に限る。	若干名	年額50万円	2020年2月以降に主たる家計支持者の収入が大幅に減少(50%以上減少)している者。父と母、ひとり親世帯は父または母の2019年1月～12月の所得金額の合計が550万円未満であること。	期間限定。愛知淑徳大学同窓会の支援による。日本学生支援機構給付奨励金受給者不可。
	臨時経済支援		400名程度(大学院と合算)	年額10万円	2020年2月以降に家計支持者(父と母両方)及び本人(アルバイト収入含む)の家計が急変した者。	〈申請先〉学生事務室または教学事務室

大学院

奨励金の種類		対象者	募集人数	給付額	経済条件	備考
特別給付奨励金2	臨時緊急支援	大学院生 ※2020年2月以降に家計急変した者に限る。	若干名	年額50万円	2020年2月以降に主たる家計支持者の収入が大幅に減少(50%以上減少)している者。父と母、ひとり親世帯は父または母の2019年1月～12月の所得金額の合計が550万円未満であること。	期間限定。愛知淑徳大学同窓会の支援による。
	臨時経済支援		400名程度(大学と合算)	年額10万円	2020年2月以降に家計支持者(父と母両方)及び本人(アルバイト収入含む)の家計が急変した者。	〈申請先〉学生事務室または教学事務室

愛知淑徳大学・大学院の学資援助制度などその他の奨励金については、学生事務室・教学事務室にご確認ください。

・上記の申し込み、給付は終了しました。  
・大学Webサイトにおいて、新型コロナウイルス感染症に係る本学の対応及び最新情報を掲載していますので、そちらもご確認ください。

## 感染拡大防止のため 入学式を縮小して実施。

穏やかな晴天に恵まれた4月7日に、中学・高校それぞれの入学式を開催しました。新入生の付き添いは1〜2人にお願いし、在校生によるクラブ勧誘や演奏は感染予防のため中止にしました。入学式にはマスク姿の新入生や保護者の方々、理事長、校長、担任・副担任が参列。校歌の披露はピアノ伴奏のみで早めの閉式となりました。また休校期間中は、新入生の不安軽減のため毎日の生活の様子をアンケートで答えてもらい、担任が返信するというコミュニケーションをとりました。



## 授業

### 休校期間中の授業支援。

新年度直後の休校期間における学習支援システムとして本校では、「スクールタクト」を利用の中心に据えました。

この「スクールタクト」は、本来通常授業内での使用を想定した授業支援システムで、教室内であれば、端末を持つ生徒・教師間での情報交換や、生徒投稿の一覧表示など、様々な形態で授業を支援するものです。

休校期間中の家庭・学校間の情報共有のためには、「スクールタクト」の持つ課題配信機能を用いました。最近評判のGood Classroomと、外見や機能が非常に似ています。各種の教育産業系の情報共有ツール同様、4月当初にあった機能面の不備も適宜改善が進み、どれと比べても遜色の無いシステムに進化つつあります。ただし、オンライン授業配信の機能を持たないため、ライブ授業配信は行いませんでしたが、家庭への連絡・各種課題・資料や動画の配信などを行いました。返信された課題を即時採点返却したり、オリジナル「淑徳体操」動画の配信も好評でした。



## 環境

### 手洗いや飛沫感染防止 などの設備を整える。

感染予防には、手指消毒、手洗いがとても大切です。教室移動、実技教科、特に体育の授業の前後には手洗いが欠かせません。そこで体育施設に最も近い、大アリーナへの渡り廊下に手洗い場を新設しました。カフェテリアには、一人ひとりのスペースを隔てるためのアクリル板を設置。食事の際に密にならないようテーブル配置も工夫しました。



## Webオープンスクール

### オープンスクールの体感できる 受験生特設サイトを公開。

感染拡大防止と来場者の安全を考慮し、6月6日実施予定のオープンスクールを中止しました。代わりに6月1日から受験生特設サイトを公開しています。学校紹介ムービーをはじめ、教育の柱となる学習指導、教科内容、学校行事、クラブ活動、進路指導などの情報を掲載。参考データとして2020年3月の大学合格状況もお知らせしています。

